

# 限定的な業種でなく 継続的な支援幅広く

## 都市経済委 山中智子議員が質問



山中智子市議

人いらっしやい！」キャンペーンについて質問しました。

17日開かれた大阪市議会都市経済委員会で、日本共産党の山中智子議員が、府市共同で実施している「大阪の人・関西の

同事業は、新型コロナウイルスの影響を受けた府内観光業者を支援するためとして6月19日から実施。関西2府4県の人々が、1人1泊7千円以上(税別)の特典付き宿泊プランを利用すると、2500円分のポイントを還元。6億

円の費用は府市で折半します。

山中氏は、「府域全体の観光喚起策なのに、なぜ府市折半で負担するのか」と指摘。期間は当初7月末までだったが、その後も続いていることについて、「事業の検証をした上で延長したのか」とたどりました。

経済戦略局は、感染拡

大の第2波への不安から出控えの影響があったとし、「安心できる時期に(大阪に)来てほしいとの思いから」と延長を決めたと説明しました。

山中氏は、国の「GOTOキャンペーン」に「時期尚早」との声が出る中で、大阪の事業を延長したのは、「市民の命を軽んじるもの」と指摘。「温泉旅館や高級ホテルなど」限定的な業種を感染のリスクを冒してまで対象とするのではなく、休業要請支援金のように補償とセットで自粛をお願いするなり、幅広い支援を継続的に行うのが大道だ」と主張しました。